

三田市長  
森 哲男様

2020年11月20日  
地域での幼稚園・学校をまもる会  
代表 長谷川 美穂  
三田市木器  
電話

### 三田市立幼稚園再編計画（案）は白紙撤回し、市民に十分な議論の時間を保障することを求める要望書

本年9月三田市議会定例会において、森哲男市長は「三田市立幼稚園再編計画（案）」を提案され、本年度末を目途にまとめていく予定とされました。

その内容は、少子化と保育ニーズの多様化等に対応するためとの理由で、広野・本庄・藍幼稚園を「（仮称）広野認定こども園」、志手原・小野・母子・高平幼稚園を「（仮称）志手原認定こども園」に再編することとされています。この間、各地域において説明会がそれぞれ1回ずつ開催されました。中でも10月10日高平小学校での説明会では、市が提案した再編案には色々と問題点があることが分かりました。

- ① 子ども・保護者・地域の方々に多様な受け止めと考えがあり、公式提案から僅か半年で結論を出すことは、あまりにも拙速であること。
- ② 市の再編案では、その地域から幼稚園を廃園にするとあり、地域での子育てが困難となり地域がますます衰退することにならないか。

第4次三田市総合計画（後期計画）では、「市街地、ニュータウン、農村地域など、各地域の特性を踏まえたまちの再生を図る」「人のつながりを大切にし、誰もが住みやすく、心のバリアがないコミュニティをつくる」とあります。市外に出た若者が故郷に戻って子育てをすることや、農村での暮らしが子育てに理想的と考えて移住してくる若者世帯が安心して出産・子育てできる環境づくりが必要です。農村地域で若者世帯が暮らせなくなれば、高齢化に拍車がかかり、「まちづくり」どころか、「まち壊し」が危惧されます。

こうした問題を持っている「三田市立幼稚園再編計画（案）」について、以下の項目を求めるものです。

#### 要望項目

1. 「三田市立幼稚園再編計画（案）」を一旦白紙撤回すること
2. 幼児教育・保育・子育て・まちづくり等に関して、子ども・保護者・地域の方々に正確な情報をすべて提供し、十分な議論の時間を保障すること